

あれみゅう

季刊誌あれみゅう
マスコットキャラクター
「みゅう」



p1 宇佐見院長に聞く
—開院35周年。
未来に繋ぐ人にやさしい「心のケア」—

p4 【コラム】地域からのインフォメーション
『地域支援員』を、ご存じですか？

p5 ケアプランセンター
相談支援事業所 相談室りっかのご紹介

p6 あれみゅうレシピ！
「さつまいもラテとりんごのハチミツヨーグルトパフェ」



また、精神科医療においては、精神保健指定医でないことできない業務が多々あります。若手の医師が指定医や専門医を目指して熱心に取り組んでいるので、ベテランの医師が十分なバックアップ体制を取れるようにしていく必要があると思います。今いる職員が長く勤められるような体制作りを進めることで、職員満足度を高めていきたいですね。

角谷看護部長 看護の現場でも、

職員の満足度と専門性の向上は常に意識しています。患者様とのコミュニケーションは非常に重要であり、傾聴のスキルや非言語的なサインを読み取る力など、看護師としての専門性を磨く研修を定期的に実施しています。また、職員のメンタルヘルスにも配慮し、気軽に相談できる体制を整えることで、皆が安心して仕事に取り組めるよう努めています。専門性を持った看護師が増えることで、エビデンスに基づいた患者支援や質の高いケアの提供に繋がっています。

宇佐見院長 医師を目指したのは、病院で働いていた母の影響が大きかったですね。高校生の頃は理科系に興味があり、将来のことを考え、現実的に医学部を選びました。精神科に進んだのは、当時、医学の中で最も未知の領域が多く、これから新しい発見がたくさんある分野だと感じたからです。

宇佐見院長 医師を目指したのは、

宇佐見院長 院長に就任したからといって、これまでの当院の歩みを変えようとは考えていません。森理事長が、長年築き上げてこられたことを引き継ぎ、より良い病院を作っていくことが、私の務めだと思っています。その上で、特に重要だと感じているのは、職員の定着です。医師や看護師、他の職種も含め全ての職員を大切に、長期にわたって働いてくれる環境を作ることが、まず何よりも重要だと考えています。

角谷看護部長 職員の定着は、患者様への継続的なケアという点でも非常に重要なことと私も考えています。主治医や担当の看護師が頻繁に変わることは、患者様にとって大きな不安やデメリットになりかねません。患者様が安心して治療を受け、社会復帰を目指す上で、信頼できるスタッフが長く寄り添い、関係性を築くことは不可欠だと感じています。

宇佐見院長 職員満足度を上げる方法は多角的であるべきだと考えています。もちろん、報酬も重要な要素ですが、それだけで解決する問題ではありません。これは前々から感じていた課題です。

宇佐見院長 医師を目指したのは、病院で働いていた母の影響が大きかったですね。高校生の頃は理科系に興味があり、将来のことを考え、現実的に医学部を選びました。精神科に進んだのは、当時、医学の中で最も未知の領域が多く、これから新しい発見がたくさんある分野だと感じたからです。

宇佐見院長(左)、角谷看護部長(右)

宇佐見院長に聞く

―開院35周年。未来に繋ぐ

人にやさしい「心のケア」―

開院35周年を迎えた2025年6月、病院長に就任した宇佐見院長と、長年にわたり看護現場を牽引してきた角谷看護部長に、これから目指す心のケアへの思いをお聞きしました。



―まず宇佐見院長ご自身のことを少しお伺いさせてください。なぜ医師の道を選び、精神科を選ばれたのでしょうか？

宇佐見院長 医師を目指したのは、病院で働いていた母の影響が大きかったですね。高校生の頃は理科系に興味があり、将来のことを考え、現実的に医学部を選びました。精神科に進んだのは、当時、医学の中で最も未知の領域が多く、これから新しい発見がたくさんある分野だと感じたからです。

未解明な部分に好奇心を抱き強く惹かれました。

角谷看護部長 職員の定着は、患者様への継続的なケアという点でも非常に重要なことと私も考えています。主治医や担当の看護師が頻繁に変わることは、患者様にとって大きな不安やデメリットになりかねません。患者様が安心して治療を受け、社会復帰を目指す上で、信頼できるスタッフが長く寄り添い、関係性を築くことは不可欠だと感じています。

宇佐見院長 院長に就任したからといって、これまでの当院の歩みを変えようとは考えていません。森理事長が、長年築き上げてこられたことを引き継ぎ、より良い病院を作っていくことが、私の務めだと思っています。その上で、特に重要だと感じているのは、職員の定着です。医師や看護師、他の職種も含め全ての職員を大切に、長期にわたって働いてくれる環境を作ることが、まず何よりも重要だと考えています。

―職員の方々と満足度向上のために、具体的にどのようなことをお考えですか？

宇佐見院長 職員満足度を上げる方法は多角的であるべきだと考えています。もちろん、報酬も重要な要素ですが、それだけで解決する問題ではありません。これは前々から感じていた課題です。



地域からのインフォメーション

『地域支援員』を、ご存じですか？

相談支援事業所ノックは、札幌市から「障がい者相談支援事業」の委託を受け、障がいのある方の総合相談窓口として相談支援を行っています。具体的には、障がいのある方が地域で暮らし、社会参加をしていくために障がいのある方自身が自分のことを決められるよう支援を行っています。2009年の開設から16年目を迎えています。全障がい種別対応型の相談支援事業ではありますが、身体障害、知的障害、精神障害、難病者という種別のなかでは、精神障害者の相談登録者が一番多いのが当事業所の特徴です。札幌市では、療育手帳所持者よりも精神保健福祉手帳所持者の数が多いため当然の現象ではあります。近年、自立支援協議会清田区地域部会「こころのチーム」が研修会など活発な取組みをしており、地域内の機関連携が強化されつつあります。まずは外部機関とつながることが、地域共生社会への実現の第一歩と感じています。

さて、2013年からは前年1月の白石姉妹孤独死事件を受け、こういった悲劇を再び繰り返さないために、幅広く地域の相談を受ける事を目的とし、市内全域10区に「地域支援員」が配置されました。もともと障がい者相談支援事業所は、地域支援員



相談支援事業所ノック

〒004-0839
札幌市清田区真栄1条2丁目1-28
真栄ビル1階
TEL:011-378-4244

務の一環として、障がい当事者や家族、行政機関の他、地域のあらゆる方々からの相談を受けることになっていましたが、「このような相談をしても良いのか...」とためらう方も多く見られ、結果的に相談に結びつかないということがあったようです。「地域支援員」の配置以降、積極的に動きかけることが出来るようになり、地域にお住まいの方や民生委員、福祉事業所、ご家族からの相談が増えつつあります。対象者のなかには、未診断や精神科の治療中断、サービス未利用、ひきこもり、ゴミ屋敷、8050世帯、貧困等々、解決すべき課題の根底には、メンタルヘルスの問題を抱えている方が多いことに気づかれました。一人でも多くの方の心が健康になることを願い、「もしかしたら困っているのかも」の「かも」の段階でご連絡いただけると早期に解決できると思います。ご近所に気がかりな方がいらっしやいましたら、是非「」報ください。なお、清田区以外にお住いの場合は、お住いの区の地域支援員におつなぎいたします。



問題点が共有され、より良い治療環境の構築に繋がります。医師とコメディカルが一緒に、自律的に学び、議論するような雰囲気醸成していきたいです。

宇佐見院長 治療環境をどう改善していくか、どのような治療を進めていくべきかを話し合う場は確かに必要だと感じています。個々の医師がそれぞれの専門性を高めることは重要ですが、それを病院全体の「強み」として統合していくためには、議論の場が不可欠です。

「当院の強みはどのような点だとお考えですか。」

宇佐見院長 一番の強みは、救急対応だと感じています。時間外や救急当番の時だけでなく、緊急の依頼にも迅速に対応できるネットワークの軽さは、札幌市内でもトップクラスだと自負しています。困っている患者様を断ることなく、積極的に受け入れている姿勢は、当院の大きなアピールポイントだと考えています。当院は本来、当たり前前であるべき「困っている患者様を断らない」という姿勢を徹底しています。

角谷看護部長 病院全体が清潔に保たれている点も、患者様やご家族に安心感を与えていると思います。緑に囲まれ建物も広々としており、廊下も広く、天井も高いので、ゆったりとした空間で過ごせると感じています。

「最後に、院長のポリシーと心安らへ時をお聞かせください。」

宇佐見院長 ポリシーは「一人にや

さしへ、自分に厳しくです。安らへ時間は、その日のやる事が全て終わって充実感に浸り眠りにつく瞬間ですね。

まとめ

対談の中で、患者様中心の質の高い医療を希求し、職員が動きやすい環境づくりに情熱を注いでいることが強く伝わってきました。また一方で、職員の定着、専門性の向上、そして多職種連携等の課題があり、それらを解決しながら、当院はこれからも、地域社会と共に歩み、心のケアを必要とするすべての人々の支えとなるよう日々進進してまいります。（取材：総合企画室）

医療法人五風会
さっぽろ香雪病院

精神科・内科・心療内科・歯科

〒004-0839
札幌市清田区真栄319番地
TEL:011-884-6878
FAX:011-884-6731
URL: http://www.sapporo-kohsetsu.or.jp

【診療受付時間】
平日: 9:00~11:30、
13:30~16:00
土曜: 9:00~11:30
(初めの方は9:00~11:00)
日曜・祝日: 休診



さっぽろ香雪病院
病院長 宇佐見 誠

2014(平成26)年4月 さっぽろ香雪病院
医局 診療部長
2018(平成30)年7月 福住メンタル
クリニック 院長
2023(令和5)年1月 さっぽろ香雪病院
副院長
2024(令和6)年4月 当院 院長代行
2025(令和7)年6月 現職

さつまいもラテとりんごのハチミツヨーグルトパフェ

秋・冬の食材を使ったヘルシーデザート。

みゆうちゃんオススメ!

あれみゆう レシピ!

材料

◎さつまいもラテ(2人分)

- ・さつまいも 中1本(約200g)
- ・普通牛乳または調整豆乳 250ml
- ・ハチミツ 大さじ1~2(お好みで)
- ・シナモンパウダー 少々(お好みで)
- ・トッピング(任意)ホイップクリーム、きなこ

◎りんごのハチミツヨーグルトパフェ(2人分)

- ・りんご 1/2個
- ・ヨーグルト(無糖プレーン) 200g
- ・コーンフレークorグラノーラ 5g
- ・ハチミツ 小さじ1

栄養

カロリー(2人分)

- ◎さつまいもラテ 約630~670kcal
※ホイップクリーム(20g)、きなこ(小さじ1)を加えた場合
- ◎りんごのハチミツヨーグルトパフェ 約253kcal

レシピ提供



カフェ ラ・ベルコリーヌ

札幌市清田区美しが丘3条8丁目2-1

開店時間 11:00~18:00

(ラストオーダー 17:30)

定休日 日曜・祝日

TEL:011-886-3303

店舗メニュー



さつまいもラテ

作り方



1

さつまいもの皮をむいて薄切りにし、水に5分ほどさらす。電子レンジ(600Wで4~5分)で加熱して、竹串がスッと通るまで火を通す。



2

温かいまま、ミキサーまたはハンドブレンダーで牛乳と一緒に攪拌し、なめらかにする。
※普通のミキサーを使う場合は牛乳をあらかじめ温めておくとうまい。



3

ハチミツで甘さを調整し、カップに注ぐ。仕上げにホイップやシナモン、きなこをふれば完成。

●ワンポイントアドバイス●
甘さ控えめ+シナモンで朝食用、
甘め+ホイップでカフェ風デザートに变身。

あれみゆうスペシャル



りんごのハチミツヨーグルトパフェ

作り方



1

りんごを薄切りにする。



2

耐熱皿にのせ、ふんわりラップをかけて電子レンジ(600W)で約1分加熱し、その後冷やしておく。



3

グラスにヨーグルト → りんご → ヨーグルト → りんご → コーンフレークの順に重ねる。最後にハチミツをかけて完成!

●ワンポイントアドバイス●
透明ガラスを使うとカフェ感アップ、
シナモンやナッツをトッピングしても◎



ケアプランセンター 相談支援事業所 相談室りっか のご紹介



相談室りっかは、障害のある方々が地域で安心して暮らしていただけるよう、生活上のさまざまな課題に対応するための「相談支援」を幅広く展開している事業所です。
新サービス「自立生活援助」の開始
令和6年12月1日より、新たに「自立生活援助」を開始しました。「自立生活援助」とは、障害のある方の生活全体をゆるやかに見守りながら必要な支援や助言を行うサービスです。たとえば、精神科病院などから退院



して一人暮らしを始めた方や、家族と同居していたとしても十分な支援を受けることが難しい方などが、このサービスの対象となります。「オーダーメイド型の柔軟な支援」とも呼ばれており、既存のサービスではカバーできないようなニーズにも対応可能であり、正にオリジナリティな支援を展開することができま

支援体制と理念

当事業所には4名の相談支援専門員が在籍しており、利用者本人の希望や不安に寄り

添いながら利用者の人生に奔走しています。また、支援者間の連携やインフォーマルな社会資源の活用にも注力し、制度の枠にとらわれない臨機応変な支援を心がけています。
事業所の名称である「りっか(六華)」は、「雪の結晶」を意味する大和言葉です。雪は静かに大地に降り積もり、やがてその地を潤します。このように深々と降り積もる雪のように、障害のある方々の人生にそっと寄り添い、住み慣れた地域で穏やかに暮らしていけるよう、一人ひとりのクライアントやご家族に対して丁寧な支援を提供してまいります。

ケアプランセンター 相談支援事業所 相談室りっか

〒004-0839

札幌市清田区真栄319

TEL.011-802-6880 FAX.011-802-6881

メール:soudan@gohuu-licca.jp

開所時間:[月~金] 9:00~17:00(受付は16:30迄)

※常時の連絡体制を確保しています。

アクセス:[中央バス]

地下鉄東西線「大谷駅」より大87「香雪病院前」下車

地下鉄東豊線「福住駅」より福87「香雪病院前」下車

【車】北広島 ICから約15分



医療法人五風会
さっぽろ香雪病院
精神科・内科・心療内科・歯科



〒004-0839 札幌市清田区真栄319番地
TEL.011-884-6878 FAX.011-884-6731
[URL]<http://www.sapporo-kohsetsu.or.jp>

基本理念

わたしたちは深い愛と思いやりの心で潤いのある医療を大切にします。

わたしたちはチーム医療を実践し、より専門性を究め良質で適正な医療を提供します。

わたしたちは社会の平和を願い奉仕の精神で地域社会に開かれた病院づくりをめざします。

基本方針

さっぽろ香雪病院は、患者さまの人権を尊重するとともに、ご家族、並びに地域の皆様に安心してご利用いただける医療サービスを提供し、高度な知識と技術の習得に努め、良質な医療の実践をめざします。



- 〈アクセス〉 ■ 地下鉄東豊線「福住」駅下車
福住バスターミナルより 中央バス（福87）「香雪病院前」下車
■ 地下鉄東西線「大谷地」駅下車 車で約20分
大谷地バスターミナルより 中央バス（大88）「真栄3条2丁目」下車乗換
中央バス（福87）「香雪病院前」下車
■ 駐車場 120台

送迎バス

地下鉄大谷地駅、福住駅から無料送迎バスがあります。
詳しくはホームページをご覧ください。
(<http://www.sapporo-kohsetsu.or.jp/>)

関連事業所

- ① **福住メンタルクリニック**
〒062-0051 札幌市豊平区月寒東1条15丁目1-20 メーブル福住ビル3階
TEL.011-853-1889 FAX.011-856-2030
- ② **訪問看護ステーション ラパン**
〒004-0839 札幌市清田区真栄328
TEL.011-375-7515 FAX.011-375-7525
- ③ **札幌市障がい者相談支援事業所 相談室きよサポ**
〒003-0022 札幌市白石区南郷通14丁目南4-8 キャッスル大木戸1階
TEL.011-860-1750 FAX.011-860-1760
- ④ **ケアプランセンター**
〒004-0839 札幌市清田区真栄319
・相談支援事業所 相談室りっか／自立生活援助りっか
TEL.011-802-6880 FAX.011-802-6881
・居宅介護支援事業所 セラヴィ
TEL.011-887-6355 FAX.011-887-6356
- ⑤ **ワークサポート・プティバ**
〒004-0873 札幌市清田区平岡3条1丁目2-5
TEL.011-887-5111 FAX.011-887-5112
- ⑥ **グループホーム イエール月寒**
〒062-0052 札幌市豊平区月寒東2条9丁目5-13
TEL.011-827-7532 FAX.011-827-7531
- ⑦ **ケアホーム イエール真栄**
〒004-0836 札幌市清田区真栄6条1丁目1-1
TEL.011-885-6400 FAX.011-885-4000
- ⑧ **住宅型有料老人ホーム パティオ真栄**
〒004-0836 札幌市清田区真栄6条1丁目1-1
TEL.011-885-0100 FAX.011-885-1800
- ⑨ **高齢者支援複合施設 美しが丘テラス**
〒004-0813 札幌市清田区美しが丘3条8丁目2-1
TEL.011-887-6311 FAX.011-887-6340
・サービス付き高齢者向け住宅
TEL.011-887-6311 FAX.011-887-6340
・訪問介護ステーション 美しが丘テラス
TEL.011-887-6830 FAX.011-887-6340
・デイサービスセンター 美しが丘テラス
TEL.011-887-6876 FAX.011-887-6340